

家庭教育強化支援プロジェクトについて（叩き台）～教育（社会教育＋学校教育）と福祉の連携を目指して～

【現状と課題】

- ・ 家庭の孤立化
- ・ 親子の時間の減少
- ・ スマートフォン等の利用による親子の対話不足
- ・ 子育ての困難さ
- ・ 支援者への情報の届きにくさ
- ・ 地域連携の強化



【取組】

- ・ 家庭教育支援コーディネーターの配置
- ・ 就学前施設の家庭教育支援員の増員
- ・ 家庭教育強化支援推進会議の開催
- ・ 親育ち・子育てサロンや講座の拡充



【効果、目指す姿】

- ・ 保護者自身の学びと成長の支援
- ・ 親子の対話による家庭の安定と、子どもたちの健やかな育ち
- ・ 就学前から小学校低学年の家庭教育支援の滑らかな接続
- ・ 地域全体で子育てを支える風土の醸成

家庭教育強化支援推進会議（新規10名程度）

- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」に基づく、「就学前の保護者に求められる10の姿」の検討
- ・ 保護者の学びと成長（親育ち）推進方策および家庭教育の強化支援に関する検討
- ・ 保護者相互の学び合い・支え合いの場に関する検討
- ・ 親子の対話力向上及び家庭内コミュニケーション促進策の検討

家庭教育支援コーディネーター（新規2名）

- ・ 学齢に応じた家庭教育講座の開催をコーディネート
- ・ 家庭教育に関する情報提供
- ・ 保護者と子ども、家庭と地域が体験を通し、つながることができる場、「就学前の保護者に求められる10の姿」に沿った子育てサロンの提案 等



家庭教育支援員

令和8年度市内小学校（拡充）・就学前施設（新規） **2900時間**

- ・ 保護者の相談支援
- ・ アウトリーチ型の「届ける」支援
- ・ 保護者の孤立を防ぐための支援
- ・ あいさつ運動や学校行事等で保護者とつながることにより、保護者が子どもたちを安心して送り出せる環境を整備
- ・ 各校園所での親育ち・子育てサロンや講座の開催 等



家庭 就学前施設 学校



家庭教育強化支援プロジェクトについて(叩き台)

現状・課題

- ・家庭の孤立化
- ・親子の時間の減少
- ・スマートフォン等の利用による親子の対話不足
- ・子育ての困難さ
- ・支援者への情報の届きにくさ
- ・地域連携の強化

取組

- ・家庭教育支援コーディネーターの配置
- ・就学前施設の家庭教育支援員の増員
- ・家庭教育強化支援推進会議の開催
- ・親育ち・子育てサロンや講座の拡充

効果・目指す姿

- ・保護者自身の学びと成長の支援
- ・親子の対話による家庭の安定と、子どもたちの健やかな育ち
- ・就学前から小学校低学年の家庭教育支援の滑らかな接続
- ・地域全体で子育てを支える風土の醸成

